

## 6. 市民・企業が継続して取り組む施策

水循環系再生のためには、市民及び企業も主体となって施策に取り組む必要があります。今後も市民及び企業がそれぞれの立場に応じて責任をもち、行政と連携をとりながら海老川流域の水循環系再生を推進します。

### 家庭での汚濁負荷削減対策

現れる効果：清らかで豊かな流れの創出

家庭で以下の対策を実施し、河川へ流入する汚濁物質の軽減を図るように努めます。

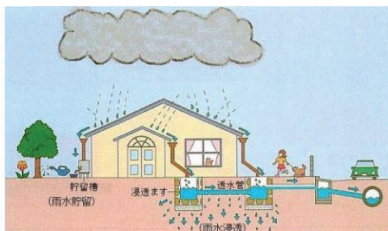
施策	具体的行動 (R7-R11)	実施主体
家庭での汚濁負荷削減	<p>&lt;台所排水について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・台所の流しに銅製ストレーナー、ろ紙袋を使用する。</li> <li>・食器や鍋等の油や汚れは紙や布で拭いてから洗う。</li> <li>・洗剤の使用量節減に努める。</li> <li>・米のとぎ汁は庭にまく。無洗米を使う。</li> <li>・みそ汁等の料理の作り過ぎをしない。</li> <li>・飲料の残りは、庭にまいたり、料理に再利用する。</li> <li>・廃油は流しに流さない。</li> <li>・デスポーザーは使用しない。</li> </ul> <p>&lt;洗濯排水について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・洗濯の洗剤や柔軟仕上げ剤の使用量を減らす。</li> <li>・洗濯機にはゴミ取りネットを付ける。</li> </ul> <p>&lt;風呂・洗面排水について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シャンプー、リンスなどの使用量を減らす。</li> <li>・入浴剤の使用回数を減らす。</li> <li>・歯みがき材の使用量を減らす。</li> </ul>	市民

### 水資源の有効利用

現れる効果：渇水時や震災時に強い水利用

水需要の増大や、渇水時・震災時の非常用水源を確保するため、以下の施策の実施に努めます。

施策	具体的行動 (R7-R11)	実施主体
雨水利用施設の設置	一般住宅等に雨水を一時貯留するタンクを設置し、トイレの洗浄用水や庭、植木などの散水に利用する。	市民 企業
再生水の利用	集合住宅などに設置される大規模汚水処理プラントで高度処理を実施し、トイレの洗浄用水や河川・水路の維持用水として再利用する。	
家庭での節水	<p>一般家庭では以下のような節水に心がけ、水を無駄にしないように努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水道水を流しっぱなしにしない。</li> <li>・洗濯はなるべくまとめて洗う。</li> <li>・洗車をバケツ洗いで行う。</li> <li>・風呂の残り湯を洗濯や散水に利用する。</li> <li>・トイレの洗浄回数を減らす。</li> <li>・水道に節水コマをつける等、節水グッズを活用する。</li> <li>・節水型トイレなどの節水型機器や、雨水貯留タンクを設置する。</li> </ul>	



雨水利用のイメージ

雨水貯留槽の設置例



洗面、歯みがきは洗面器やコップを使いましょう